

根来山げんきの森倶楽部

令和4年11月作業日誌

暖房が欠かせない季節の到来ですね。「山眠る（やまねむる）」という、静まり返る冬の山を形容する季語がありますが、げんきの森は活気にあふれ、肌寒い小雨の降る中で総勢41人の元気なクラブ員たちが汗を流しました。この時期限定の「元気の出る豚汁」も大好評！

活動日：令和4年11月16日(日) 9:30～15:30 天気：晴れ 倶楽部員：41人

子どもたちが安心して座れる長椅子にリニューアル♪



うるし谷整備

本日の作業は午前中9名、午後8名で活動。まず、うるし谷の入口になる階段下の側溝蓋の交換をしました。既に制作していただいていた木製蓋を古くなったものと交換し、安心して車両も止められるようになりました。

その後、森のようちえんの子ども達も安心して座れるように長椅子の平板交換し、午後からは放置されていた倒木を、力を合わせて引っ張り出し、枝を落としたり、杭に再利用できるよう適当な長さに切

ったりして倒木の片付けを終えました。

午前中は雨も降り肌寒いくらいでしたが、活動に集中すると皆、良い汗をかきました。この日は、うるし谷整備初参加のクラブ員のために、小雨降る中、先輩方が谷を案内してくださり、素敵な森の風景を満喫しました。（神浪 佐知子）

危険な伐採作業は集中第一！

里山整備

カシノナガキクイムシによる枯れ木の伐採、整備作業を行いました。天候がいまひとつで途中小雨にふられながら、午前中は5名と少数精鋭メンバーで作業となりました。今回はチップーと林内作業車の2台が出動。二手に分かれて交通整理したり、切ったり、運んだり、チップーかけしたり、休む間も無く作業に集中しました。林内作業車で谷に寝転んだコナラをひっぱりあげるのは骨の折れる作業。枝が引っかかってなかなか引き上げられず、作業車の向きや場所を変えたり、短く切ってから引き上げたり、安全に注意しながらの作業となりました。

午後からは応援メンバーが加勢してくれ、チップーなしで午前中の続きを行いました。見晴らしを良くするために周辺のクスやヤマモモも伐採予定でしたが、午後は道路沿いの立ち枯れ木を優先。朝同様、倒して引き上げる作業を繰り返しました。繰り返すとおのずとペースがつかめ、比較的早く作業は進み、天候も今ひとつだったため早めの終了となりました。土仏沿線東側には道路沿いにまだたくさんの枯れ木がありました。やるべき仕事がたくさんあって今後も楽しみです。（東郷 太樹）





げんきの森ペディア
～難を転じて福となす 南天～
メギ科

縁起物や厄除け、また鎮咳効果で知られる南天は平安時代に中国から伝来しました。戦国時代には、武士の鎧櫃（よろいびつ）に南天の葉を収め、出陣の折りには枝を床にさし、勝利を祈ったそうです。



34個（戸？）の物件... 入居鳥募集中！



巣箱かけ

部員4名、巣箱作りのお客様大人3名、子ども3名の10名で活動しました。野鳥は冬に家探しをするので、今がその時期です。

一度にたくさん運ぶために竹の棒に10個ほどの巣箱を通して籠屋のように前後二人でさげ、枝打ちはしご、上に運ぶための竹の棒を持って出発。手作りの森、東山、むくのき原、バリアフリー、プレイパーク、ネムノキ谷、ふれあいの森へと条件に合う木を探しながら歩きました。

- 1、視界がひらけていて、
- 2、静かすぎず人の気配がガサガサするくらいのところが天敵から狙われにくいので良いそうです。鳥が入りやすいようにくさびを入れて巣箱に傾きをつけました。途中、3年前の巣箱が外し損ねてそのままになっているのを発見！巣立った形跡があったので

下ろさずに中の掃除をしてそのまま使うことにしました。途中ちょっとヒヤッとする出来事もありましたが、大事には至らず無事終了しました。計34個、巣箱をかけました。（萬賀 伊津子）

分担作業で大仕事もスムーズに終了♪

ひのき谷歩道整備

先月は、大谷池からすぐの橋が老朽化したため、この橋を通らないルート2か所に丸太を並べた橋をつけたところで終わりましたので、橋から橋の間の歩道をつける作業でした。男女5名で取り掛かりました。

岩混じりの地面を削ったり、土を入れたり、路肩に木を置いたり、これは大変な作業になると思いながら、現地に到着しました。なんと、路肩には立派なすぎ丸太が置かれていて、ほぼ姿が見えていました。H・M・Sさんがこれまでにやってくれたとのことでした。

当日の作業は、水かさが増しても橋が流されないよう、一の橋の下から岩をほりあげ歩道の下地を作ること、二の橋の手前部分はスギの切り株で盛り上がり、そして落ち込んでいたので、川から岩を上げて路肩の木の隙間を埋め、盛り上がったところから低いところへならずことでした。力持ちのTさんは抱えるような岩を川原から放り上げ、非力な私はツルハンシで岩混じりの土を掘り起こして低いところへ入れていきました。



当日の作業は、水かさが増しても橋が流されないよう、一の橋の下から岩をほりあげ歩道の下地を作ること、二の橋の手前部分はスギの切り株で盛り上がり、そして落ち込んでいたので、川から岩を上げて路肩の木の隙間を埋め、盛り上がったところから低いところへならずことでした。力持ちのTさんは抱えるような岩を川原から放り上げ、非力な私はツルハンシで岩混じりの土を掘り起こして低いところへ入れていきました。

屋前には目標の作業が終了し、古い橋へ行く分かれ目と橋の入り口にトラロープを張って終了しました。（赤阪 進）



次回の準備も万端！いい炭作ってます。

炭出し



本日は、10名の参加で10月31日に焼きあがった炭を製品にする作業でした。

地面にブルーシートを敷き10cmの長さにカットして計量袋詰めを行いました。

10:30ごろから雨が降ってきたため屋根のある所に急遽移動して作業を進めました。今日の出来高は220kgでした。

作業終了後、雨対策をしようとみんなで話し合い、簡易屋根を作るため色々と思いがでてきたので、

次回、雨の時に実施しようと思いました。

午後からは、炭材づくりと炭材入り口の土づくりを行いました。炭材作りは薪割り機を使い太さの調整を行いチェーンソーで長さの調整や小枝の切断などを行い均一に炭が出来るようにします。土作りは水になじみやすい土を作るため焼き固まった土を木槌で砕きフルイにかけて細かくします。メンバーのこのような地味な準備作業があってこそ立派な炭が出来ると思います。皆様お疲れ様でした。次回も立派な炭が出来ますように。(須山 佳則)



めぐみと森のようちえんを主宰している佐道さんが韓国政府から招待を受けて、森のようちえんの活動について発表してきました。

韓国では都市への若者の集中が問題になっており、地方再生への取り組みに力を入れようとしているとのこと。そこで、日本や台湾などから地方で様々な取り組みを行っている団体を招いてパネルディスカッションが開催されたのです。

もちろん、げんきの森についても話題にくださったようで、私たちの公園も国際的なものになりました。

また、げんきの森で遊んでいる森のようちえんの園児たちを見かけたら、声をかけてあげてください。(岡田 和久)